

文化の担い手への侮辱

山本幸三地方創生担当相
＝16日、大津市で
セミナーで発言する山本



山本地方創生相発言

中国や東南アジアの爆発的な観光はもう終わり、質が変わってくる。文化や伝統、歴史をしっかりと理解して、もう一つの観光が本物で、一番長続きする。文化財の説明をどうと説明できるかどうか勝負。一条城では過去、全英語の案内表記がなく、何の歴史の説明もなかった。イギリス人が抗議し、今はがらりと変わり、ガイドも付くようになった。日本ではいたる国の重要文化財に指定される、火も水も使えない。花も生けるのも駄目。お茶もできない。というほかれたことが当然のように行われており、一番のがんばり文化と言われる人々だ。この連中は普通の観光マインドが全くない。プロの自分たちが分れば、他の人たちは分からない。だから来てくれないよ、というのが正しい。この連中を掃き払えば駄目。

(要旨)

がんは学芸員。一掃しなければ駄目

現場から怒りの声

戦国武将、真田信繁(幸村)を生んだ長野県上田市は昨年、NHK大河ドラマ「真田丸」の舞台になった。同市の和根崎剛学芸員(57)がテレビ番組に出演し、真田家が築いた城の石垣を紹介すると、すぐに大勢の観光客が押し寄せた。「私たちがずっと昔、感じていた面白さがある。何も知らずに言われ、悔しい」と憤った。

織田信長の居城、岐阜城に近い岐阜市歴史博物館の三山(さやま)学芸員(58)は「文化財を観光資源として活用する学芸員は全国で増えている」と話す。

実際、同館では外国人を含む観光客向けに戦国時代の装束の着付け体験を開いている。ほかにも、滋賀県彦根市の彦根城博物館は、ゆかりのある今年大河ドラマ「おんな城主 直虎」に機軸を定めて、今秋に特別展を開く予定。福井市は、〇一六年度から、学芸員が詰める美術館と博物館の運営を教育委員会から観光文化局に移し、観光への貢献を強化している。学芸員が積極的、観光振興に関わる事例は枚挙にいとまがない。

ただ、そもそも山本氏が言うように、学芸員は、仮に観光への貢献度が低ければ「一掃」されるような仕事なのか。

「観光にも貢献」「理解、勉強不足」

関係の失言や発言が相次いでいる背景として、識者は「一掃状態にある安倍政権の『おごり』」を指摘する。

愛知学院大総合政策学部の森正教授(政治学)は、内閣支持率の高さを背景に「失言をしても大丈夫といった空気が政権内に漂っている。実際、謝ったり、撤回したりすれば、関係が辞任に追い込まれることは、ほとんどない」と説明。「深く考えずに軽い気持ちで問題発言をしている。関係の資質

一強の現政権 「おごり」指摘

に問題がある」と話した。

中央大経済学部の三船毅教授(政治学)は「失言や発言が続いても支持率への影響は限定的。だから問題発言をしても更迭したりはせず、安倍政権は強気の姿勢を貫き通している」と指摘。「野党が対抗勢力の体をなしていない。かつての自民党では派閥が政権主流派への批判勢力として機能したが、現在は連立。またも批判勢力が存在していない」とみる。



山本担当相の発言を批判する大野昭文館長＝17日、津市の三重県総合博物館で

発言について「非常に浅い理解に基づき、多くの学芸員を傷つけた。学芸員への侮辱で、ヘイトスピーチと言ってもいい」と非難した。

学芸員を養成する教育現場も衝撃を受けている。自身も学芸員資格取得を目指す女子学生み出す仕事だと信じてきたの(津市)の大野昭文館長(67)は「現場に対する無理な語った。

業務に「観光」言及なし

学芸員 博物館法が定める専門職で、歴史や芸術、民俗学などの資料の収集、保管、調査研究を行う。大学で博物館に関する科目の単位を取得するか、文部科学省の認定を受ければ資格を取れる。文科省によると、2015年度の調査で全国の官民の博物館、美術館などに勤める学芸員は7821人、約300の大学などに養成課程がある。